

## 7・8月ティーンズ企画展示



### ブックリスト

多摩市立図書館本館

pick up

『図解はじめて学ぶみんなのビジネス』  
ララ・ブライアン／文 他  
晶文社 2021年1月 (Y335)

お金を得る手段の一つがビジネス。「物やサービスを作り、それと引き換えに提供する(売る)」というビジネスの基本と、それを取りまく社会のしくみ、また、自分で会社を作るための方法を、豊富なイラストでいきいきと解説している。巻末には用語解説がある。

pick up

『おカネの教室 僕らがおかしなクラブで学んだ秘密』  
高井浩章／著 インプレス  
2018年3月 (Y331.84)

「お金を手に入れる方法は6つ、さてそれは？」奇妙なクラブで毎回出される宿題に取り組むうちに、中学生の僕たちは、経済やお金の仕組み、世の中のカラクリが見えてくる。金融・経済系学園ドラマスタイルの本書は、経済を身近に感じることができる。

pick up

( )は分類番号

『あたらしいお金の教科書  
ありがとうをはこぶお金、  
やさしさがめぐる社会』  
新井和宏／著 山川出版社  
2021年7月 (Y337)

「活きたお金の使い方」とは、自分らしく生きるうえで意味のある使い方をすること。お金の本質を知り、お金の振り回されず、自分らしい生き方をするためのお金の使い方とは。

pick up

『14歳の自分に伝えたい  
「お金の話」』  
藤野英人／著 マガジンハウス  
2021年5月 (Y330.4)

商品やサービスを選んで買うという消費の繰り返し、社会の景色を決めていく。この経済活動が未来をつくるといえる。投資家である著者は、14歳が抱えがちな悩みは、上手な「お金の付き合い方」を知ること、解決の糸口がつかめると説く。

## お金ってなに？

『お金のしくみを知りかしく扱う方法』  
ジェーン・ピンハム／著  
ホリー・バシー／著  
東京書籍 2020年7月 (Y338)

若い時に身につけたお金の習慣は、一生変わらないことが多いという。本書では、お金の管理方法の他、オンラインショッピングでの注意点、カードや奨学金などお金を借りる時のルールなどについても触れている。

『12歳の少女が見つけた  
お金のしくみ』 泉美智子／著  
宝島社 2020年6月 (Y331)

『小学生でもわかるお金にまつわる  
そもそも事典』 吹田朝子／著  
シーアンドアール研究所  
2017年6月 (Y337)

『13歳からの経済のしくみ・ことは  
図鑑』 花岡幸子／著 WAVE出版  
2018年2月 (Y330)

『図解はじめて学ぶみんなのお金』  
エディ・レイノルズ／文 晶文社  
2022年1月 (Y337)



## お金の活かし方

『いま知っておきたい「みらいのお金」  
の話』  
松田学／著 アスコム  
2019年3月 (338)

仮想通貨は驚くべきスピードで世の中に広まっている。この「みらいのお金」で始まる新しい社会を生きるためには「お金のリテラシー」がとても大切といえる。本書は、仮想通貨の存在意義を理解したうえで、新たなお金との付き合い方を知るための入門書といえる。

『こどもお金ルール』  
高濱正伸／著 伊井哲朗／監修  
カンゼン 2022年3月 (Y33)

『達人になろう!お金をかしく  
使うワザ』 エリック・ブラウン／著  
サンディ・ドノバン／著  
子どもの未来社 2020年1月 (Y33)

『先生、お金持ちになるにはどう  
したらいいですか? 15歳から学ぶ  
お金の教養』 奥野一成／著  
ダイヤモンド社 2021年3月 (Y330)

『マネーという名の犬』  
ボード・シェーファー／著 飛鳥新社  
2017年11月 (Y338.18)

## 税のあれこれ

( )分類番号

『13歳からの税』  
三木義一／監修 かもがわ出版  
2020年1月 (Y33)

私たちの社会は、税がなければ成り立たない。本書では、税の歴史・種類・集め方・海外の税制度など幅広く紹介している。また、「税に関する歴史的イベント」などのコラムもあり、大人にも読みごたえのある1冊になっている。

『どうなってるの?』  
税金の使われ方1』  
『税金の使われ方』編集委員会  
／編著 汐文社  
2019年10月 (33)

『高校生のための税金入門』  
小塚真啓／編著 三省堂  
2020年6月 (Y345)

『よくわかる税法入門』  
三木義一／編著 有斐閣  
2022年4月 (345.12)

『10代のためのお金と投資』  
大泉書店編集部／編 大泉書店  
2022年4月 (Y330)